

## いすみ市沖における先行事例の配慮書との比較表

		今回の対象事業	先行事業			
事業者名		合同会社いすみ沖洋上風力	(株)グリーンパワーインベストメント	千葉洋上風力(株)	(株)レノバ	
第一種事業の名称		(仮称) いすみ市沖洋上風力発電事業	同左	同左	(仮称) 千葉県いすみ市沖洋上風力発電事業	
手続状況		配慮書送付：R4.5	答申：R4.6	答申：R4.6	答申：R4.3	
事業の内容	事業実施想定区域 (以下「想定区域」)	約94km <sup>2</sup> (約9,400ha)	約8,431ha	約86.9km <sup>2</sup> (約8,690ha)	約10,500ha	
	環境影響を受けるおそれがあると判断される地域	いすみ市、一宮町、御宿町	いすみ市、一宮町	同左	同左	
	原動力の種類	洋上風力(着床式)	同左	同左	同左	
	発電所の出力	最大564MW	最大630MW	最大500MW	最大450MW	
	風車のローター直径 (ブレードの回転直径)	220m (12,000kW) ~ 236m (15,000kW)	222m	最大240m	174m (9,500kW) ~ 236m (15,000kW)	
	風車のハブ高さ	150m	150m	最大150m	110m (9,500kW) ~ 154m (15,000kW)	
	風車の海面からの最大高さ	260m (12,000kW) ~ 268m (15,000kW)	262m	最大270m	200m (9,500kW) ~ 280m (15,000kW)	
	複数案の設定(候補の内容)	規模	①12,000kW×47基 ②14,000kW×41基 ③15,000kW×38基 ※配置については、①②③のいずれかを対象とするが、規模決定後に検討する。	14,000kW×最大45基 ※配置については検討中。	12,000kW~16,000kW×最大40基	①9,500kW×47基 ②15,000kW×30基 ※配置については、①②のいずれかを対象とするが、現在検討中。
		基礎構造	①モノパイル式、②ジャケット式、③重力式、④トリパイル式、⑤トリポッド式、⑥サクシオンバケット式	①モノパイル式、②ジャケット式	①モノパイル式、②ジャケット式	①モノパイル式、②ジャケット式、③サクシオンバケット式、④重力式
		海底ケーブルの陸揚げ地点を含む地域	検討中	同左	同左	同左
	工事等の拠点となる港を含む地域	検討中	同左	同左	同左	
	想定区域から沿岸までの最短距離	3km	1.8km ※今後、3kmの離岸距離を確保する予定。	3km	3km	
想定区域及びその周囲の概況	自然的状況のうち特徴的事項	いすみ市周辺の海は、水深20m前後の浅い岩礁群が沖合10km以上先まで広がる磯根(器械根)が存在(p213)	いすみ市の東方の海には、水深が20m前後の浅い岩礁群が沖合10km以上先まで広がる「器械根」が分布する。(p193)	想定区域の東側には重要な漁場である器械根が存在する。(p305)	いすみ市の東方海域には「いすみ根(器械根)」と呼ばれる水深20m前後の浅い岩礁群が沖合10km以上先まで広がっている。(p118)	
		「生物多様性の観点から重要度の高い海域」(平成28年4月環境省)が想定区域周辺に存在するものの、想定区域に含まれていない。	同左	同左	同左	

